

平成 29 年第 13 回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 平成 29 年 10 月 27 日（金）午後 2 時開会

2 場 所 五和農業情報センター マルチメディア研修室

3 本会議に出席した教育委員

委員 長	花 里 昌 直	委員長職務代理者	黒 鶴 進 治
委 員	行 合 八 恵 子	委 員	木 下 えり子
委 員	蓑 田 えり		

4 本会議に欠席した教育委員

教 育 長 石 井 二三男

5 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	森 下 洋 一	教育総務課長	柴 田 和 人
学校教育課長	山 本 洋 介	生涯学習課長	菅 原 弘 晃
学校給食課長	川 端 浩 二	学校教育課審議員	沢 村 祐 介
学校教育課係長	堀 口 さおり	教育総務課課長補佐	出 永 圭 史

6 本会議に付した議題等

(1) 審議事項

議第 38 号 事務局職員の人事異動について (教育総務課)

(2) 協議・報告

(1) 平成 30 年度市立幼稚園園児募集について (学校教育課)

(2) グローバル人材育成事業の報告について (学校教育課)

(3) 平成 29 年第 3 回市議会定例会一般質問の概要について (教育総務課)

(4) 平成 29 年 11 月行事予定について (教育総務課)

7 本会議の概要

(1) 開会

花里委員長： ただ今から、平成 29 年第 13 回天草市教育委員会定例会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

(2) 前回会議録の承認

花里委員長： 前回会議録の承認であるが、何かご意見はないか。ないようであれば承認してよろしいか。

(全員承認する)

(3) 教育長報告

石井教育長： 教育長欠席のためなし

(4) 議案

議第 38 号 事務局職員の人事異動について

花里委員長： 本件については秘密会で協議を行いたい。秘密会とするには、天草市教育委員会会議規則第 14 条第 1 項ただし書の規定により、出席委員の 3 分の 2 以上の賛成が必要であ

る。秘密会とすることに賛成の方は挙手をお願いします。全員賛成ということですので本件は秘密会とする。関係職員以外の者については退席をお願いします。

(5) 協議・報告

(1) 平成30年度市立幼稚園園児募集について

花里委員長：事務局から説明をお願いします。

山本学校教育課長：資料1ページをお願いします。平成30年度市立幼稚園園児募集要項について説明する。まず1の、入園の要件であるが5歳児・4歳児・3歳児と分けてそれぞれの要件に該当する誕生日の期間を記載している。次に2の募集期間であるが、12月1日金曜日から翌年の1月5日金曜日までの期間としている。3の入園手続き等であるが、(1)では通園区域の指定はないということ、そして申請書等の備え付けのある場所、提出先などを、(2)では月額保育料を記載している。次に4の3歳児保育であるが、全ての幼稚園で実施をする。1クラス20名の定員とし、本渡北幼稚園のみ2クラスとしている。なお、募集定員を超えた場合は抽選することとしている。最後に5の就園時間であるが、登園時間は午前8時10分から9時まで、降園時間は午後2時としている。なお、平成30年度の募集にあたり、市政だより天草の12月1日号に募集要項を掲載する予定である。

花里委員長：何か質問はないか。

黒鶴職務代理者：降園時間であるが、預かり保育について協議はなされたのか。

山本学校教育課長：本市における幼児数が減少している中に、公立幼稚園が預かり保育を実施することにより、私立幼稚園や保育園等の運営に影響が出るのが懸念されるため、保育所連盟及び私立幼稚園連盟と協議を行っているところである。現在、保育料が私立保育園と公立幼稚園では異なっており、子育て支援の充実として、公立幼稚園は月額5,900円で、市民税の階層区分に応じて減免等も実施している。私立幼稚園においては、子ども子育て支援新制度に移行しており、保育料も、天草市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業利用者負担に関する条例施行規則に基づき、上限額を18,000円とした保育料となっている。公立幼稚園においても、この条例施行規則に基づく保育料に移行した後、預かり保育を実施することが、タイミング的に良いのではないかと考えている。

黒鶴職務代理者：預かり保育は、年度当初から実施できない場合には年度途中からでもできないのか。

山本学校教育課長：環境整備・人的配置等もあるため、年度途中からは、本格的な実施は難しいと思われる。

行合委員：他の市町村は私立幼稚園と公立幼稚園の保育料は同額であるのか。もし、天草市と同じであるならば理解できるが。

山本学校教育課長：私立幼稚園の県内の動向については把握していないが、例えば熊本市においては、平成30年度までに段階的に、国の基準額等を基本とした、上限額を25,700円とした保育料に変更されるとのことである。

花里委員長：この案件については、去年・一昨年から話が出ている。この保育料で預かり保育を実施するのは無理である。それを合わせたところで検討して欲しいとのことでした。それを以前から出している。それに対して市長は実施する方向でと話があったが、現在どの様になっているのか。

山本学校教育課長：私立幼稚園連盟及び保育所連盟の意向を伺いながら、今後の公立幼稚園のあり方を含め、慎重に進めるように指示されている。

花里委員長：預かり保育を希望する子どもの保育料のみを上げることはできないのか。例えば、預かり保育を希望し、ほとんどの家庭は共稼ぎであり、保育園より幼稚園に預けたいと考える人がおり、保育料が高くなってもいいので市立幼稚園に預けたいと考えている人達の要望を受け入れることができるかということである。そのためには、預かり保育を希

望する人達を私立幼稚園の保育料と同額にすることによって解決できるのではないか。

山本学校教育課長： 基本的な保育料に差があるのは望ましくないとと思われる。

黒鶴職務代理者： 私立幼稚園と公立幼稚園の保育料が折り合えば、預かり保育を実施できるのではないか。

山本学校教育課長： 現在、私立幼稚園で運用されている保育料に移行する必要があると思われる。その際は、3年程度の経過期間を設けて段階的に行うことも考えられる。

行合委員： 私立幼稚園は預かり保育を実施しているのか。

山本学校教育課長： 行っている。

森下部長： 赤木議員から預かり保育ができないのかとの一般質問がなされている。それに対し市長は、もう少し時間をいただきたいと答弁されている。市長へは私立幼稚園協議会から要望もされており、一方では公立幼稚園の保護者から預かり保育についての要望がなされている。両者からの要望を受け、市長は赤木議員の質問に対し今しばらく時間をいただきたいと答弁され、私たちもその様な指示を受け、私立幼稚園協議会・私立保育園協議会との交渉を行っている。来年度から本格的に動き出さなければならないと思っている。

花里委員長： ある程度年度を決め、来年度から行うとか再来年度から行うとか目安がつけば良いが、毎年同じ話をしている。ぜひ、出来る限り早急な話をしていただきたい。

(2) グローバル人材育成事業の報告について

花里委員長： 事務局から説明をお願いします。

山本学校教育課長： 資料2ページをお願いします。本市においては昨年度から全校で英会話科の授業を行い、児童・生徒の英語力の向上を図っている。その一環として今年度も京都大学経営管理大学院の留学生8人を招き、英語と言う共通のコミュニケーションツールを用いて、様々な国の出身者との異文化交流活動を行った。その内容について概要を報告する。まず、Amakusa English Day であるが、昨年度に引き続き実施したものである。9月2日(土)に牛深総合センターで行っている。午前中は小学生を対象として牛深地区の児童を中心に34人の参加があった。午後は牛深中学校の生徒を中心に32人の参加があった。内容としては、全体でのゲーム、グループに分かれての自己紹介があり、3ページに紹介しているが、京都大学の留学生と本市ALTの出身国、計10カ国12のブースを作り、それをグループごとに巡っていく世界旅行として各国の文化・食べ物・暮らしなどの体験をしたところである。当日の会話は、原則として全て英語とし、できるだけ自分の力でコミュニケーションを図れるよう指導を行い、当然分からない部分も沢山あるため、その場合はALT又は英語指導補助教員が手助けを行っている。参加した生徒からは、熊本日日新聞の記事を6ページに掲載しているが、「緊張したけれど、笑顔で話しかけてくれて楽しく会話できた」という感想もあった。9月3日(日)には天草宝島国際交流会館ポルトで行い、午前中は小学生を対象に76人の参加があった。午後は小・中学生を対象とし、76人の参加があった。アンケートの結果としては、「いろいろな国を知ることができてよかった。」、「日本と違うところがあって面白かった。」、「普段使わない英語で話すことがこんなに楽しい事を知った。」、「もっと英語が上手になりたい。」などの感想を聞くことができた。次に学校での交流についてであるが、資料4ページをお願いします。まず、9月1日(金)に新和中学校を訪問し交流を行った。これは、新和中学校が本年度起業体験推進校の指定を受け、今回来市した留学生も各国で起業に携わっている優秀な人材であったため、職業観といった観点からもいろいろな話を伺った。生徒からの感想の中には、2年生では、「英語が分からなくて困った時には、優しくゆっくり話してくれ理解が深まった。」、「楽しく会話できた。」など、また3年生からは「とても楽しくて時間が過ぎるのが早かった。」、「沢山の外国に興味を持ち、もっと英語を話せるようになりたいと強く思った。」などの感想を聞くことができた。9月4日

(月)には御所浦小学校で交流を行った。御所浦小学校では土日に行った English Day と同じ内容を留学生のブースのみで行った。「国の魅力、言語を知ることができてよかった。特にドイツ語が英語と違って面白かった。」「今日はとても楽しかったので、この様な交流があったらまた参加したい。」「大人になったらいろいろな国に行ってみたいと思った。」などいろいろな感想が聞かれた。全体的に考えると、当初の目的であったコミュニケーション能力の向上、グローバル人材としての必要な資質の素地の育成について、ある程度達成することができたと考えている。

花里委員長： 私も御所浦小学校を訪問したが、とっても楽しそうに英語を使いながら話をしたり、ゲームをしたりしていた。何か質問はないか。

木下委員： 私は本渡会場であるポルトへ見学に行った。この前も話をしたが、最初は緊張して笑顔が無かったが、時間が経つごとに笑顔でコミュニケーションができていた。それから保護者も参加され、楽しい雰囲気でのコミュニケーションやグローバル人材育成事業としての資質向上の目的が達成できたと思っている。また、子どもたちがそれぞれパスポートを持っていて、スタンプを押してもらい、短い時間の中で世界巡りができたと思っている。楽しそうでも私も思わず楽しい雰囲気の中に入って行った。

行合委員： 私も先月話したと思うが、御所浦でグローバル人材事業が行われたことは非常に良かったと思う。なぜなら、先日御所浦中学校を訪問した。牛深もへき地、御所浦もへき地であるが、御所浦の大変さは違っている。御所浦で生活している教員と話をした際、例えば不登校の生徒がいた場合でも迎えに行けない。行けば船賃が発生する。子どもたちの教育環境が非常に難しいと改めて感じた。御所浦中学校を訪問した際、1年生の学力が低かった。ということは小学校から進学したときに少し劣っていたと推察される。教育というのは、保育園・小学校・中学校の連携が必要である。幼少期から発達段階に合わせた知育・知的刺激が必要だと思っている。やはり、御所浦の教育環境は非常に厳しいところがあるので、やはり来年も継続されるのであれば、再度グローバル人材育成事業を実施していただきたい。

蓑田委員： 先月の前年度の点検評価の時には、評価員には内容が上手く伝わっておらず辛口の評価であった。しかし、この報告を受け予算をかけた以上の効果があったと実感している。また、この事業をやるんだという市長の考えに賛同し、今後も継続していただき多くの市民に周知し参加していただきたい。

花里委員長： 他に質問はないか。

行合委員： できることなら本渡地区で開かれ近くの子どもたちは参加できるが、なかなか参加できない子どもたちが参加できるよう他の地区でも開催していただきたい。

山本学校教育課長： 京都大学大学院生の滞在期間が限られているが、できるだけ調整していきたい。もし開催できない場合は、本市ALTを活用し、Amakusa English Day のような取組の開催を検討したい。

(3) 平成29年第3回市議会一般質問の概要について

花里委員長： 平成29年第3回市議会一般質問の概要が記載されているが、何か質問はないか。

黒鶴職務代理者： エアコン設置について結論が出ている。計画どおりに進めていただきたい。

花里委員長： エアコン設置に係る予算はどれくらいになるのか。

柴田教育総務課長： 予算については、29年度12月補正ということで来月の教育委員会定例会において補正予算関係の審議をお願いすることとしている。その際、29年度補正で計上する分は出てくる。現在、29年度はそれぞれの設置に係る設計業務委託料を計上することとしている。その分が概算で3,500万円である。平成30年度については中学校13校と市立幼稚園3園に整備をする計画である。その分が約3億8,000万円程度である。翌平成31年度小学校17校に整備を計画し、約4億9,000万円。3カ年の空

調設備事業費はトータルで約9億円の見込みである。

(4) 平成29年11月行事予定について

花里委員長： 事務局から説明をお願いします。

柴田課長： 資料20ページをお願いします。11月の行事予定を掲載している。11月7日火曜日には本渡東中学校の合同総合訪問が行われる。14日火曜日には12月市議会上程予算案審議ということで少し早いですが、教育委員会定例会を14時より五和農業情報センターで開催することとしている。22日水曜日には牛深小学校合同総合訪問が行われる。28日火曜日には本渡南小学校の合同総合訪問が行われる。

6 その他

花里委員長： 他に何かないか。

首原生涯学習課長： 委員長からも話があったが、熊本県人権大会天草大会が無事に終了することができた。大変お世話になった。参加者の報告をさせていただく。21日(土)の全体会参加者数は1,625名であった。その内天草からは、806名の参加で約半数が天草からの参加であった。翌日の22日(日)には分科会が18会場に分かれて開催され、延べ人数が1,406名、天草から582名の参加であった。当初、両日約2,000名の参加を計画していたが、参加者が少なかった要因として衆議院議員選挙があり行政職員の参加が大きく減少したのではないかと推察している。

それから遡るが、10月7日に熊本県童話発表大会が開催された。熊本市植木文化センターにおいて県下小学生23名が参加し行われた。天草市からは本町小学校の6年生、本渡北小学校の6年生が参加したが、残念ながら入賞できなかった。

森下教育部長： 私から子どもたちの頑張りということで、先週の金曜日10月20日に開催された天草郡市中学校駅伝競走大会の結果を報告する。男子の部20kmであるが、1位が牛深中学校で記録が1時間5分52秒、2位が大矢野中学校で9秒差の1時間6分1秒、3位が本渡中学校でタイムが1時間6分55秒で2位と54秒差であった。女子の部は12kmで、1位は倉岳中学校43分35秒、2位が本渡中学校43分47秒で1位と12秒差であった。3位は大矢野中学校でタイムは44分58秒で2位との差が1分11秒であった。

最後に本渡中学校吹奏楽部が10月21日に名古屋で開催された全国吹奏楽コンクールに出場し、新聞等に掲載されていたが銅賞であった。

花里委員長： 他に何かないか。なければ以上をもって、本日の会議を閉じる。大変お疲れ様でした。